

菊名記念病院臨床研修病院群  
基本研修プログラム

(各科研修プログラム)

菊名記念病院臨床研修病院群  
研 修 管 理 委 員 会

# 研修プログラムの概要

プログラム責任者 菊名記念病院 村田 升  
研修管理委員長 菊名記念病院 西元 史哉

## プログラム基本の方針・特色

菊名記念病院を主病院とするこの研修プログラムは、卒後臨床研修の必修化に伴い、医師国家試験合格後の2年間の初期臨床研修を目的としたものとなる。

この研修期間においてできるだけ多くの科で修練し、臨床医に求められる基本的な知識・技術・態度を習得するとともにプライマリーケア全般の初期診療に関する能力を身に付け、病人のもつ悩み・苦しみ等、心理的・社会的側面を認識でき得る愛情豊かな医師の育成を行う。

また、同時に臨床の場を通じて、生命の尊厳を実経験として認識するとともに、医の倫理の涵養をはかり、全人的医学を学び、医師としての基礎固めを行う。

研修終了後、医師としての更なる研鑽を積むための基礎を構築するものである。

## プログラムの到達目標

本研修では、患者を全人的に診る能力を確保する為、以下のような標準的な到達目標を設置する。

- 1 臨床実務を経験することにより、適切な初期診療を行うとともに、救急時の診療においても臨床医に求められる基本的な能力を身につける。
- 2 患者の全体像を把握し、常に多面的な視点より理解を深めることを意識し全人的医療を身につける。
- 3 良好な患者—医師関係を築くこととともに、患者の心理的・社会的背景を適切に把握し、問題解決を行うための家族とのコミュニケーションを保つ能力を身につける。
- 4 EBM（証拠に基づいた医療）が実践できる。
- 5 医療関係スタッフの業務を理解しチーム医療が実践できる。
- 6 必要に応じて、患者を適切な専門医または施設に紹介できる能力を養成する。
- 7 医療評価ができる適切な診療録を作成する能力を身につける。
- 8 慢性疾患患者や高齢患者の管理上の要点を知り、ケアの計画立案ができる。

## プログラムの具体的取り組み

- 1 公募により一年次4名、二年次4名の研修医を募る。採用試験では面接及び小論文・自己PRプレゼンにて採用可否を決定する。
- 2 菊名記念病院の標榜する内科・他3科、更に横浜旭中央総合病院・新横浜母と子の病院・江田記念病院・レストア川崎・新横浜リハビリテーション病院・葛が谷つばさクリニックを含めて、全7科及び地域医療を研修対象科とする。
- 3 菊名記念病院の各診療科の責任者及び横浜旭中央総合病院・新横浜母と子の病院・江田記念病院・レストア川崎・新横浜リハビリテーション病院・葛が谷つばさクリニックと合同で研修管理委員会を発足し、研修プログラムの運営にあたる。
- 4 研修管理委員会が、研修医の研修科目の選択を基に、2年間の研修計画をたて実践していく。
- 5 菊名記念病院の関連各機関の連携を活用し、必要に応じて研修内容に取り組んでいく。
- 6 研修医として学ぶ環境、また研修医としての身分、勤務条件等生活環境にも考慮していく。
- 7 研修修了にあたっては、研修医から到達目標が達成されたことの自己申告を受け、研修管理委員会が終了を認定し、終了証書を授与する。

- 8 経験すべき症候（29項目）と経験すべき疾病・病態（26項目）は診療科ごとに別紙マトリクス表に示す。  
経験しえたかの評価は、症例レポートの提出、指導医の適時確認、診療録からの確認とする。  
なお、症候、疾病の経験は必ずしも主治医である必要はない。

## プログラムの研修期間

臨床研修を行う分野ごとの研修期間を下記に示す。  
但し救急部門においては3ヶ月の期間を設けることとする。

- |         |     |                            |     |         |     |
|---------|-----|----------------------------|-----|---------|-----|
| 1. 内科   | 6ヶ月 | （期間内で連続した1ヶ月又は1週毎の外来研修を行う） |     |         |     |
| 2. 救急部門 | 3ヶ月 | 3. 地域医療                    | 1ヶ月 | 4. 外科   | 1ヶ月 |
| 5. 麻酔科  | 1ヶ月 | 6. 小児科                     | 1ヶ月 | 7. 産婦人科 | 1ヶ月 |
| 8. 精神科  | 1ヶ月 | 9. 選択科                     | 9ヶ月 |         |     |

## プログラムの代表的なスケジュール

プログラムの2年間の代表的なスケジュールを下記に示す。

1年次：

総合診療科	5ヶ月	外科	2ヶ月	放射線科	1ヶ月	心臓血管外科	1ヶ月
麻酔科	1ヶ月	整形外科	1ヶ月	循環器内科	1ヶ月		

2年次：

脳神経外科	1ヶ月	精神	1ヶ月	産婦人科	1ヶ月	小児科	1ヶ月
地域医療	1ヶ月	救急部門	2ヶ月	選択科	5ヶ月		

## 研修医の処遇に関する事項

菊名記念病院初期研修医としての処遇を下記に示す。

- |              |  |
|--------------|--|
| 1. 雇用体系      | 常勤医師   |
| 2. 研修手当      | 年棒（1年次） 4,200,000円(税込)<br>（2年次） 4,560,000円(税込) |
| 3. 勤務時間      | 平日 8:30～17:00（休憩時間 13:00～14:00）<br>土曜 研究日      |
| 4. 休暇        | 日曜日・祝日・夏休み平日5日間・年末年始                           |
| 5. 時間外勤務     | 有  |
| 6. 当直        | 有（明けの日の勤務は13時までとする）                            |
| 7. 研修医の宿舎    | 有（独身寮）   |
| 8. 病院内個室の有無  | 有  |
| 9. 社会保険・労働保険 | 健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険                            |
| 10. 健康管理     | 健康診断(年2回実施)・インフルエンザ予防接種・B型肝炎ワクチン接種             |
| 11. 医師賠償責任保険 | 有（団体加入割引有）                                     |
| 12. 外部研修活動   | 有（学会・研修等は指導医の許可の元、積極的に参加すること）                  |

## アルバイトに関する事項

菊名記念病院の初期臨床研修プログラム実施期間において、当該プログラムに関わる宿日直研修等以外

の宿日直（アルバイト診療）は禁止とする。これは、医師法第16条の2第1項、医師法第16条の3およびこれらに付随する省令にも定められており、これに違反すると、医師本人のみならず関連する病院も重い処分を受ける為である。

## 研修分野ごとの研修カリキュラム

別紙参照

### 協力型臨床研修病院・臨床研修協力施設

協力型研修病院・臨床研修協力施設の情報を下記に示す。

#### ○協力型研修病院

##### 1. 横浜旭中央総合病院（小児科）

研修期間：1ヶ月

研修実施責任者・指導者：保崎 一郎

研修内容：①医療面接

②外来カルテ・入院カルテの作成（POS方式）

③指示箋・処方箋の出し方

④基本的身体診察法

・初診、聴打診、触診、神経反射、精密眼底検査

⑤診療の基本的手法

・気道確保

・心マッサージ等CPR

・抹消静脈路の確保

・中心静脈注射

・輸血

・血圧測定及びその評価

・心電図の判読

⑥救急患者対応

⑦宿直勤務

⑧CPC・各課抄読会・各カンファレンス参加

⑨小児科特融の基本的診察法の理解

⑩小児救急・外来・入院患者対応

⑪小児科として最低限マスターする目標

・小児の検温

・小児の血圧測定

・外見からの小児虐待を察知

・下痢便の性状

・小児の酸素吸入

・小児の心肺蘇生法

##### 2. 新横浜母と子の病院（産婦人科）

研修期間：1ヶ月

研修実施責任者・指導者：石原 楷輔

研修内容：①妊娠経過・分娩管理の研修

・産科超音波検査

・分娩監視装置による検査

- ・正常分娩の取り扱い
- ・異常分娩の取り扱い
- ・帝王切開の助手

②婦人科の臨床

- ・感染症の診断と治療
- ・寮生腫瘍の診断と治療
- ・悪性腫瘍の早期診断・病理・治療についての一般的知識
- ・不妊症についての一般的診断と治療
- ・術前、術後の全身管理
- ・付属器手術、単純子宮全摘術の助手
- ・産婦人科救急患者の取り扱い

③その他

- ・救急患者、緊急手術に随時立ち会うこと
- ・産科当直の副当直を週2回程度行うこと
- ・産婦人科カンファレンスに参加すること

○臨床研修協力施設

1. 新横浜リハビリテーション病院（地域医療）

研修期間：2週間

研修実施責任者・指導者：久代 裕史

研修内容：①健康管理

- ・投薬、食事の管理
- ・リハビリテーションの管理
- ・緊急時の対応
- ・転倒、転落等への予防対策
- ・精神面安定へのケア

②在宅復帰への援助

- ・在宅復帰へ向けた ADL の管理
- ・病院の役割を理解し、当院を囲む医療機関・福祉施設・福祉サービスと連携を図る

急性期病院 — 回復期リハビリテーション病院 — 慢性期病院  
老人保健施設  
在宅サービス等

③患者及び家族への在宅へ向けての適切なアドバイス

2. レストア川崎（地域医療）

研修期間：2週間

研修実施責任者・指導者：桑名 壮太郎

研修内容：①高齢者の健康管理

- ・投薬、食事の管理
- ・緊急時の対応
- ・転倒、失禁等への予防対策
- ・精神面安定へのケア

②在宅フックへの援助

- ・地域医療機関、福祉への連携
- ・利用者及び家族への在宅へ向けての適切なアドバイス

3. 江田記念病院（精神科）

研修期間：1ヶ月

研修実施責任者・指導者：今城 崇乃子

研修内容：プライマリーケアにおける精神科疾患に対し、精神医学的方法・手段を駆使し、心身両面から総合的判断を行い、状況に応じた最適な治療の選択ができる能力を養成する

- ① 基本的診療報
- ② 検査法
- ③ 個々の疾患、状態像等の理解と対処

4. 葛が谷つばさクリニック（地域医療）

研修期間：1ヶ月

研修実施責任者・指導者：長田 展明

研修内容：①診療補助業務  
②診療補助業務（看護師・患者様係業務）  
③乳幼児予防接種  
④在宅診療・訪問診療  
⑤訪問服薬指導  
⑥内視鏡検査補助業務  
⑦調剤薬局業務